赤穂民報

発行所
赤穂民報社
赤穂市加里屋駅前町58－18
TEL 43－1886
FAX 46－2626
編集 発行人 広島秀紀

アートマイル実行委に外務大臣表彰が決定

文化交流促進に貢献大

芸術を通じた日本と諸外国との文化交流促進に多大な貢献があったとして、大町の塩飽隆子さん(61)が代表を務めるNGO「ジャパンアートマイル実行委員会」(JAM)に外務大臣表彰が贈られることが決まった。

JAMは英語塾教師の塩飽さんと夫で事務局長の康正さん(67)が平成17年に立ち上げ、日本と海外の学校をつないで壁画(縦1・5㍍、横3・6㍍)を完成させる学習プログラム「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」を企画。これまでに参加した児童・生徒は64の国・地域から4万人を超える。また、昨年にはパリのユネスコ本部で「アートマイルユネスコ展」を開催。「持続可能な開発のための教育」として評価された。赤穂市内では昨年度から市教委が一部の小学校でカリキュラムに導入。今年度は有年小と原小、高雄小の3校が参加する。

表彰決定の知らせを受け、塩飽代表は「大変名誉なことと感謝しております」と喜び、「これからも子どもたちを世界に繋いで、未来の日本を担う人材を育てていきたい」と決意を新たにしている。

同表彰は、国際友好親善の増進に特に顕著な功績があった個人・団体を称える制度。今年度は187個人、45団体への表彰が決まった。表彰式は7月6日(木)に東京都港区の外務省板倉別館で行われる。


(写真は外務大臣表彰が決定したJAMの塩飽隆子代表と事務局長の康正さん)

ベテランズ柔道でV3

今秋世界大会出場へ

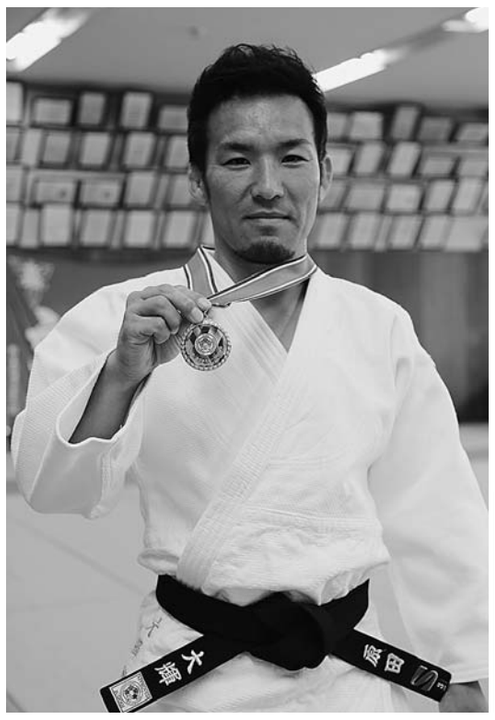
赤穂高教・原田大輝さん

2017年日本ベテランズ国際柔道大会(第14回日本マスターズ柔道大会)で赤穂市柔道協会の原田大輝さん(36)＝赤穂高教諭＝がM2(男子35～39歳)66㌔級で優勝。今秋にイタリアで開かれる世界ベテランズ柔道の日本代表に内定した。

大会は6月18・19日に和歌山・白浜町立総合体育館であり、M2・66㌔級には海外選手を含む10人が出場した。原田さんは準決勝までの3試合を得意の関節技や寝技などで、いずれも一本勝ち。決勝も「狙い通りだった」という袖釣り込み腰で技有りを奪って勝利した。

保健体育教諭として赤穂高校に赴任して5年目。顧問を務める柔道部で部員たちに胸を貸すのが自身の稽古にもなっている。同大会は32歳と33歳のときに連覇して以来の出場。「部員たちに戦う背中を見せたい」と厳しい減量とひざのけがに耐えて勝負強さを発揮した。

国際大会の出場は初めて。「日の丸を付けた柔道着は柔道をする者にとってあこがれ。日本代表として出る以上は優勝しかない」と意気込んでいる。


(写真は日本ベテランズ国際柔道大会で3年ぶり3度目の優勝を飾った原田大輝さん)

第2回はりまハーモニカ祭

西播磨のハーモニカ愛好者らが集う「第2回はりま・ハーモニカ祭り」が7月1日(土)、中広の赤穂市文化会館ハーモニーホールで開催される。

10団体約120人が出演。童謡や唱歌、演歌などをソロとアンサンブルで計約50曲演奏する。小ホールで午後1時開演。無料。

ねんりんピック剣道

兵庫代表に2選手

60歳以上の5人制団体戦で競う「ねんりんピック秋田2017・剣道交流大会」(9月9日～12日)の兵庫県代表選考会で、赤穂剣道連盟の小島勝義さん(72)＝細野町、七段＝と尼崎厚さん(68)＝御崎、七段＝が年代別クラスで優勝。代表入りが決まった。

70歳以上の部に出場した小島さんは2年ぶり5度目の優勝。決勝で会心のメンを決めた尼崎さんは65～70歳の部で初優勝を飾った。

代表チームでは尼崎さんが副将、小島さんは大将を務める。「平常心を心掛けたい」(尼崎さん)、「決勝トーナメント進出を目標に頑張る」(小島さん)と話している。

(写真は「ねんりんピック剣道交流大会」の兵庫県代表に決まった小島勝義さん㊧と尼崎厚さん)

新会長に千崎氏

赤穂剣道連盟の役員改選がこのほどあり、第8代会長に千崎武司氏(64)＝城西町＝を選出した。新役員は次のみなさん。敬称略。

▽会長＝千崎武司▽副会長＝竹谷英幸、森谷真三、岩本哲也▽理事長＝寺田尚弘▽副理事長＝福田豊彦、山村繁嘉、黒田尚宏、平野公教▽事務局長＝竹本和由▽監事＝西畑清光、土手善友▽会計＝森谷充孝

次々週は休刊

次々週7月15日は休刊します。
赤穂民報社

バザー収益金を活用し弦楽器6点を寄贈

ソロプチミスト西播磨

音楽活動の活性化に役立ててと、女性奉仕団体「国際ソロプチミスト西播磨」は弦楽器6点を赤穂市へこのほど寄贈した。

寄贈されたのはビオラ3挺、チェロ2挺、コントラバス1台で、いずれもルーマニアのグリガ社製。同団体が毎年開催しているチャリティーバザーの収益金で購入した。

市は寄贈された楽器を活用して、早ければ今秋にも高校生以下を対象にした弦楽アンサンブル教室を開講する予定。同団体は「文化振興の一助になればうれしい」と話している。


(写真は国際ソロプチミスト西播磨から寄贈された弦楽器)

市民ガイド

▼出張美容「ルイ」からのお知らせ＝寝たきりの人、病気等のために足を運べない人、男性も可。赤穂市内、隅から隅まで出張します。遠方も可(無定休)◎ホームヘルパー2級取得しています。塩屋261の9☎42・9068、☎090・3499・28684

▼JACS赤穂愛車買取センター＝オークションから店頭販売まですべての情報を活かしてできる高額査定。他社とは情報量が違います。出張査定もしています。お気軽にお電話、ご来店ください。☎43・3939

▼関西車検センター＝軽四級47110円1㌧未満57970円1.5㌧未満66270円2㌧未満74470円国家整備士による64項目点検込。洗車・代車・オイル各千円増。修理・アフターサービスも格安☎42・3242

▼車の廃車無料＝鉄や部品のリサイクルにより廃車無料。自税月割返金や書類手続、出張も無料◎車種により買取もOK。廃車専門店「あんこーる赤穂店」塩屋郵便局北☎0120・396・796

▼格安・オート車検＝軽四級47110円1㌧未満57970円1.5㌧未満66270円2㌧未満74470円小型貨物等大特価、ブレーキ等点検料含む。洗車・代車・引取納車・オイル交換各千円増、車検切れ車もOK。廃車無料、名義変更等も格安。土日祝日も24時間電話受付。安心車検「オート車検代行」加里屋中洲・白十字西☎45・0733

▼着付承ります＝冠婚葬祭その他すべてのきもの着付けをお手伝い致します。佳日は重なりますのでお早めにご予約くださいますようお願いします。「佐井」☎43・8463、「有吉」☎080・9160・2843

▼あなたのお悩みに姓名鑑定士が応えます＝健康が心配、仕事が安定しない、結婚できない、いじめにあう等々。様々なお悩みに誠意を持ってアドバイスさせていただきます。お気軽にご一報ください。秘密厳守。相談料5000円(出張無料)。有年☎49・2255、☎090・3494・8983(竹一)

▼介護保険による住宅改修・耐震補強＝申請手続き、工事、アドバイス致します。お気軽にお電話ください。〝迅速・確実・丁寧〟に、あなたの夢をかたちにします。「㈱中道工務店」若草町☎42・5077

▼何でもします喜んで貴方のお手伝い致します＝引越、家具の移動、片付け、家財処分、骨董買取り、大工・左官・塗装・雨漏り・水廻りの工事、剪定、草刈、草引、墓掃除、付添い、話し相手。見積り無料。便利屋「愛サポート」御崎☎42・4117

▼自家製シロップかき氷始まりました＝新味「小豆島レモン(果肉入り)」が登場。昨年ご好評の『またたびの秘蜜』『石臼挽き宇治抹茶』は不動の人気定番です。季節で味が変わります。「さんぽう」御崎☎42・5155

▼カラダととのえキャンペーン＝7月8日までに新規予約受付をして頂いた方限定で全身骨格調整60分を5000円→2000円で施術致します。この機会に腰痛や肩こり等にお悩みの方、是非お越しください。予約制「totonoe赤穂出張所」黒崎町☎080・8512・3668

▼気とツボの健康講演会＝8日(土)10時～11時半。加里屋まちづくり会館会議室。健康ボランティアの会。病気にならず元気に生きる為の気とツボと癒しの話です。参加無料。☎090・9779・0490(祷慈)

▼ドリームカントリーだより＝ただ今、サマークリアランスセール開催中。明日まで花苗、鉢花、観葉植物、多肉植物がレジにて合計金額より半額です。まだまだ色々ゆっくりご覧ください。掘り出し物もきっと見つかります。ヨ※7・8月は木曜定休。㈲米口グリーンナーセリー木津☎46・8001(17時まで)

▼「ラ・セーヌ」からのお知らせ＝7月1日(土)赤穂でブルーベリーが穫れ始めましたので、ブルーベリーを使ったタルトを本日1000円と消費税にて販売しております。この機会にどうぞご利用ください。(曽)AM9時30分～PM6時。☎42・2296

▼パソコンの困り事なんでもご相談ください＝初期設定・データ移動・ウイルス駆除など。出張料は市内2000円。修理見積もりは無料です◎国産ブランド中古ノートが常時在庫あります。「はしもとでんき」折方1426☎42・2874

お知らせ

▼心配ごと相談所のお知らせ(7月の各水曜日)＝○一般相談5日、12日、26日○弁護士相談19日○カウンセリング相談5日、26日※いずれも福祉会館1階で13～17時。相談無料、秘密厳守。「赤穂市社会福祉協議会」中広☎42・1397

催し

▼山口謙二の『一音一絵』ライブイベント＝現代アート作家山口謙二とピアニスト臼井洋志によるライブペイントアートはいかがですか？　幅4㍍の巨大なキャンバスにピアノの音色に合わせて消えていく絵画を描いていきます。7月9日(日)14時から。定員40名。鑑賞料3500円(ワンドリンク付き)要予約。「桃井ミュージアム」御崎☎56・9933

▼角さんの『日本昔話絵てがみ展―Ⅲ』開催＝角本勝氏が色紙に描いた心に残る昔話の作品25点。7月3日(月)～8月3日(木)10時～16時(金土日休み)。「高瀬舟」坂越公民館隣☎48・7122

▼赤穂の地金魚『穂竜』研究会＝7月2日(日)、上仮屋の武家屋敷公園。9時半～13時半。この春に生まれた当歳魚を展示します。無料の金魚すくい大会(中学生以下対象)あり。雨天決行。「穂竜愛好会」☎090・5667・8788

▼コスモスの種をまきに来ませんか＝東備西播定住自立圏形成推進事業として、東有年の休耕田にコスモスを栽培します。備前市、上郡町、赤穂市の小学生の親子を対象に種まきイベントを開催します。AM2時30分～2時間半程。「神戸新聞赤穂専売所」加里屋☎43・5700

▼正職員巫女募集(若干名)＝高卒以上の未婚の方を募集。参拝者への御守等の授与。ご祈祷・祭典・挙式等への奉仕など。8時～17時。月給16万円。詳しくはお問合せください。「大石神社」上仮屋☎42・2054

不動産

▼共栄住宅不動産の相談承ります＝土地・中古住宅・マンション・賃貸物件等の不動産全般に関する相談及び査定。相談査定無料。秘密厳守。お気軽に御連絡ください。兵庫県知事(14)2286号「赤穂共栄住宅㈱」加里屋☎43・2190(定休日／祝日のみ)〈HP〉http://ako-kyoei.co.jp

▼不動産情報(仲介)＝【売土地】○鷸和に約49坪150万円○はりま台に約68坪150万円、他約64坪200万円○木津に約129坪(角地)300万円○上郡町高田台3丁目に約90坪300万円○折方に約62坪(上物あり)1000万円○板屋町に約50坪(西南角地)1105万円○松原町に約60坪(東南角地・完成宅地渡し)1120万円○大町(播州赤穂駅歩10分)に約76坪(建物解体渡し)1300万円○寿町(播州赤穂駅歩7分)に約81坪(上物あり)1490万円○砂子(坂越駅歩10分)に約130坪1600万円○上仮屋北(播州赤穂駅歩13分)に約67坪1300万円○元禄橋町に約159坪(遊歩道に面す)2866万5千円(分割相談可)【中古】○木津に土地約65坪、建物約33坪(昭和58年12月築)550万円○本水尾町に土地約50坪(南西角地)、建物約25坪(昭和55年3月築)1260万円(増築未登記部分あり)【賃貸】○加里屋、中広、正保橋町1K○4万円で朝日町3DK○4万5千円で片浜町、加里屋3DK○4万8千円で海浜町、中浜町3DK○5万3千円で元禄橋町3DK○5万5千円で若草町、元沖町3DK○6万3千円で東浜町に3LDK※売却をお考えの方、無料査定致します。秘密厳守。お気軽にお問合せください。国土交通大臣(13)第1056号「三菱電機ライフサービス赤穂支店」鷸和☎43・7221

ペット

▼猫の里親探しの会＝7月23日(日)と8月20日(日)、上郡町井上のティンカーベル2階で13～16時。猫の即日引き渡しはしておりません。子猫の譲渡は生後3カ月以降になります。「Cats,チャリティ播磨」☎52・6037

休日急患診療医

▽2日＝三木内科(加里屋42の13)☎42・1771

カルチャー

▼第32回夏季仏教セミナー＝7月30日(日)午前6時～午後3時。片山一良前住職が「独住―孤独を超えて」と題して講義。仏教座談は赤穂学林会員の高田育紀さんが「(最)先端をめざした旅」と題して基調講演します。参加無料(昼食希望は600円)で高校生以上40人を7月23日まで募集。「花岳寺」加里屋☎42・2068

求人

▼土日アルバイト・時給1000円＝○土日祝／11～14時、17～20時○平日／11時～14時。時給900円(研修期間あり)「㈱元祖かもめ屋赤穂本店」赤高北交差点そば☎45・2330

▼集金員募集・塩屋小校区＝あいている時間でお仕事しませんか。25日から月初にかけてのお仕事です。月約2万5千円(件数により異なる)。お気軽にお問合せください。「読売新聞YC赤穂」海浜町☎42・2253

▼「対鴎舘」＝○フロント事務／8時～12時、14時～18時。研修期間時給850円○接客係／7時～10時30分。15時～20時30分。時給950円○寝具係／18時～21時。時給850円。60代の方も歓迎。御崎☎42・2681

▼スタッフ募集・ホールの仕事です＝8時～16時30分の間でシフト制(日数、時間応相談)。時給850円。初めての方も気軽にお電話ください。「グラン・カフェ」加里屋中洲☎43・5490(水曜定休)

▼「食彩どんぐり」スタッフさん募集＝火木金土日の昼11時から14時まで、月金土の夜17時30分から20時30分まで募集。時給昼820円、夜840円。定休日／水曜・第3木曜。お城通り☎45・3123(連絡は14時～17時)

▼坂越で、ナポリのお菓子作っています＝夏休み、土日祝日のアルバイトを募集します。9～16時の間で5～6時間程度、応相談にて。時給819円～。「坂利太」坂越2083☎48・8658

▼パートタイマー募集＝市内施設での設備管理業務。8～17時。週3日程度の勤務。火曜休み。時給840円。60代の方多数在籍中。まずはお気軽にお電話ください。詳細は面談で。「錦メンテナンス㈱」加里屋☎42・4747

▼正社員(保険完備・賞与あり)＝○正社員を募集しています。未経験者歓迎。様々な年代の方も歓迎。給料25万円～(研修期間は18万円)。がんばり次第で30万円以上も可能性大。週休あり。AM0時30分～5時、PM2時～8時○有年地区の配達さんも募集しています。配達手数料は月7万円程。有年にお住まいの方、大大歓迎致します。AM2時30分～2時間半程。「神戸新聞赤穂専売所」加里屋☎43・5700

市民福祉講座受講者を募集

赤穂市社会福祉協議会は7月15日(土)から3回シリーズで開く第33回市民福祉講座の受講者を募集している。

いずれの回も中広の市総合福祉会館で午後1時半～3時半。受講料1000円を添えて7月10日(月)までに申し込めばよい。☎42・1397。日程と内容は次のとおり。

▽7月15日＝「認知症への正しい理解と効果的な予防」浦上克哉氏（鳥取大学医学部教授）

▽7月22日＝「無縁社会とどう向き合うか～地域における見守りと支えあい活動の大切さ～」板垣淑子氏（NHKスペシャルプロデューサー）

▽7月29日＝「地域と希望～繋がりの大切さ～」玄田有史氏（東京大学社会科学研究所教授）

第41回市中学校対抗ソフトテニス

▽男子＝①赤穂東A（廣島夢叶、安井瑛登、磯野太一、藤井佑和、村島大斗）②赤穂A（中村、清水、市瀬、後藤、石黒、中元）③赤穂西A（三浦、山口、柳田、三宅、門家、山田）赤穂東B（原田、藤、樋口、阿部、藤原、團）▽女子＝①赤穂A（桃井璃子、真殿涼子、畑中望愛、木下茉凜、岸田綾佳、平山瑠依）②赤穂東A（下谷、後藤、中川、小島、山本、入潮）③坂越A（真鍋、大隅、阿賀、有岡、川辺、山本）坂越B（小倉、山本、安井、田中、山田、札場）

生徒会や調理部など文化祭で「起業」体験

文化祭の模擬店を「株式会社」として運営する取り組みに赤穂高校の生徒たち5チームがチャレンジしている。経営理念や売上目標などを設定し、定款も作成。自分たちで考えたビジネスプランで利益追求を目指す。

東京証券取引所（JPX）の「起業体験プログラム」。共通目標に向かって組織で活動する経験を目標に、生徒会や調理部など約40人が参加している。

各チームは7月の文化祭に出店するポップコーンや飲み物などの模擬店経営計画を立て、「投資家」役のJPX職員と同校教諭の計5人を前にプレゼンテーション。「損益分岐点を教えて」「店が混雑したときの対処は」などといった投資家たちからの質問攻めに耐えながら店の魅力や収益期待度をアピールした。

いずれのチームも希望した満額の出資を勝ち取り、模擬の登記手続きと引き替えに現金を受け取った。地元食材を使ったカフェを運営する濱本麻友さん(17)＝2年＝は「めちゃくちゃ責任を感じます。計画通り利益を出せるようにしっかり準備したい」と抱負。パン作り教室を兼ねたベーカリーを出店する藤井凜君(15)＝1年＝は「お客さんが楽しめて笑顔になる店にしたい」と意欲をみせた。

収益は学校備品購入費などに役立てる予定で、文化祭終了後に開く「株主総会」で正式決定する。**（写真は経営計画が認められ、笑顔で出資を受ける生徒たち）**

学生起業家が母校で講演「夢持って行動を」中広の長安成暉さん

赤穂中学校OBの現役大学生社長が後輩に向けて話す講演会がこのほど加里屋の同校であり、全校生徒約360人を前に夢を持つことの大切さなどを語った。

3年前に同校の生徒会長だった長安成暉(なりあき)さん(19)＝中広＝は今年2月、高校卒業を前にロボット用アプリ開発会社「X－mov Japan」を創業。現在は関西学院大学商学部で学びながら事業展開へ向けた実証実験に取り組んでいる。この日は母校からキャリア教育の講師として招かれ、「自分で夢を創る」と題して講演した。

中学時代に人型ロボット「Pepper（ペッパー）」のプロモーション映像を見たのをきっかけに「ロボットと人が共に生きる社会を作りたい」と夢を持ったという長安さん。そこから勉学に身が入った自身の経験を紹介し、「夢が決まれば、それだけで人生は大きく変わる。そして、一歩踏み出してみることが重要」と強調した。

先輩の話に耳を傾けていた3年の市瀬大聖君(14)は「自分も『いつかは夢を決める』と頭に置いて生活していきたい」と感想を話した。**（写真は後輩へ向けて「夢を持って行動しよう」と呼び掛けた長安成暉さん）**

少年野球親善試合 赤穂選抜が勝利

赤穂市内の野球スポーツ少年団が6年生選抜チームを組んだ少年野球の親善試合が6月25日に加里屋の城南緑地野球場であり、今年5月の兵庫県スポーツ少年団軟式野球交歓大会で準優勝した福崎野球スポーツ少年団に挑んだ。

尾崎、御崎、坂越、有年・原の4チームで編成した第1試合は接戦の末、6－5で勝利。第2試合は赤穂、城西、塩屋、高雄、赤穂西の5チームから選抜し、7－2で快勝した。

第1試合で逆転決勝打となる2点タイムリーを打った川崎柊哉君（御崎）は「うまく打てて良かったです」と振り返り、第2試合で後半4イニングを無失点に抑えた清水力也君（赤穂）は「強いチームに勝ててうれしい」と笑顔だった。**（写真は親善試合を終えて仲良く記念写真に収まる選手たち）**

くぼっち先生の～ 絵本で世界を旅しよう！

【エリック・カールの絵本】

私に絵本の素晴らしさを教えてくれた一人がエリック・カールです。

彼の絵本を何度も手にしました。そのたびにカルチャーショックを受け続けました。

イギリスの動物学者ジェーン・グドール。

彼はタンザニアのゴンベで野生のチンパンジーを研究している中で、「ナマケモノ」に出会います。エリックは、そのとき感じたことを「ゆっくりがいっぱい！」という絵本にしました。

ナマケモノという動物は、いつも木の枝にぶら下がり、あまり動こうとはしません。そのためか、あまり好感を持たれないかもしれません。

「ゆっくり・のんびり・おっとり」としていることがなぜいけないのでしょうか…。より早く、より大きく、より豊かにという暮らしをいつ頃から求めるようになったのでしょう。

ひょっとすると、現代社会の成り立ちに深くかかわっているのかもしれません。

ときには取り返しのつかない過ちを何度も起こしているかもしれないのに……。

ときには、ナマケモノのように「ゆっくり・のんびり・おっとり」と生きていくことの大切さを感じます。

私の思いは、今の世の中では受け入れられないでしょう。しかし、日々の暮らしを振り返ってみることは、とても大切なことです。

エリック・カールの絵本はいつも新しいことを教えてくれます。

＊＊＊

『ゆっくりがいっぱい！』○作／エリック・カール○訳／工藤直子○前書き／ジェーン・グドール○偕成社

ポリオ撲滅 盲導犬育成 チャリティーゴルフ

感染症のポリオ撲滅、盲導犬育成の支援を目的にしたチャリティーゴルフ大会が7月17日、赤穂カンツリークラブで開催。主催団体が参加者を募集している。

今年で17回目。ボランティアグループ「フリーダム」（井本学明代表）と盲導犬チャリティー実行委員会（郷司耕平代表）が共催する。

タブルペリア方式18ホールストロークプレーで1位から3位と飛び賞、ブービー賞などを表彰する。会費3000円（募金1000円含む、プレー費は各自負担）。7月6日（木）まで20組を受け付ける。☎43・3111（赤穂CC）。

商工会議所 無料相談会

中小企業向けに事業資金などについて専門家がアドバイスする相談会が7月18日（火）、加里屋の赤穂商工会館で開かれる。

3階小研修室などで午後1時～4時。パソコン相談、創業・経営相談も受け付ける。☎43・2727。

ガラスドア蹴って壊す 容疑の47歳男逮捕

飲食店のガラスドアを蹴って壊したとして、赤穂署は6月24日、相生市旭5丁目の自称アルバイトの男(47)を器物損壊容疑で逮捕した。

逮捕容疑は今年5月9日午後11時20分ごろ、赤穂市南野中のファミリーレストランで出入り口のガラスドア1枚（約6万5千円相当）を足蹴りして壊した疑い。

調べに対し、男は「一緒に来ていた連れと、もみ合いになった」とし、「そのときガラスに当たったかも知れない」と話しているという。

折方の空き地で76歳男性が焼死

6月28日午前3時半ごろ、赤穂市折方の天神山集会所近くの空き地で、人が焼け焦げた状態で倒れているのを近くの女性が見つけ、119番通報した。

赤穂署によると、倒れていたのは同市内の無職男性(76)で、死亡が確認された。現場にふたが開いたポリタンクがあり、中に灯油が残っていたという。目立った外傷はなく、同署は自殺とみて捜査している。

赤穂市民病院の新館竣工
来月1日から供用
8日に市民向け内覧会

二期構想に基づき施設の増改築を進めている赤穂市民病院は、8月にオープンする新館の市民向け内覧会を7月8日(土)に行う。

新館は本館の北側で鉄骨造り4階建て、延床面積約6500平方㍍。健診センター、40床ある人工透析室などを備える。当初計画では今年3月の運用開始を予定していたが、「東京オリンピックへ向けた需要の高まりで建設資材の調達が困難だった」(同病院)ことから完成が遅れた。

内覧会は「赤穂市民病院祭」に合わせて行われ、午前9時半から11時半まで30分ごとに計5回実施。各回とも定員20人で当日午前9時から1階エスカレーター前で整理券を配布する。同病院☎43・3222。

手作りPOPで絵本紹介

子ども向けの絵本をイラストやキャッチコピーで紹介する手作りPOPスタンドを関西福祉大学の学生有志が制作。7月1日(土)から赤穂市立図書館と同大学図書館の「おすすめえほん」のコーナーに設置される。

両図書館が平成23年度から取り組む「図書館相互利用推進事業」の一環。2館合わせて延べ約1万6500冊ある絵本の蔵書の中から幼児への読み聞かせや小学生が自分で読むのに適した絵本をピックアップし、学生6人が約30点のPOPスタンドを作った。

画用紙にマジックや色鉛筆などでカラフルに絵を描いたり、折り紙を貼り付けたり。いずれも手作りならではの温かみや親しみが感じられる。

自身も絵本が好きという社会福祉学部4年の大野恵梨華さん(21)は「来館者の目を引くように作りました。絵本を手に取ってもらえたらうれしいです」と話していた。

「おすすめえほん」のコーナーは7月20日(木)まで設置。大学図書館は原則18歳以上を対象に平日午前9時～午後7時に利用できる。☎46・2506。

(写真は市立図書館と大学図書館に設置される「おすすめえほん」の手作りPOPスタンド)

関西福祉大学リレーコラム 応援します！ かしこい子育て・教育・介護

【小学校の教室から学んだこと⑤～道徳教育って何？～】

来年度から道徳が「特別の教科」になります。「道徳は教えることができるの？」「みんなが同じ価値観をもつようになるの？」それがよいことなの？」という声も聞こえます。

これまでも道徳の時間といってお話の資料を使って考える時間がありました。でもこの時間には、教科書がなかったり、評価がなかったりしたために、学校や先生による差も大きかったのです。いじめの問題に端を発し「心の教育」の充実が求められて、特別の教科となりました。

さて、道徳を学ぶとはどういうことでしょう。

例えば「うそをついてはいけない」「いじわるをしてはいけない」ということは、みんな知っているけれど、行動することは難しいのです。(「何度も言っているじゃない！」って叱ることはよくありませんか。)

つまり、何が正しいのか知っていることは、ほんの入り口にしか過ぎないのです。小さい子どもたちは、道徳に関して、大人たちから強い影響を受けます。大人の言うことが「正しい」ことなのであり、ほめてもらえることや叱られることが「よい行い」をする基準となります。

しかし、年齢が上がると、自分自身で何が良いかを判断し、どうすればよいのかを考えるようになります。その時には、様々な見方をしていく力も付けていく必要があります。例えば、失敗して落ち込んでいる友だちがいたとします。皆さんならどうしますか。

声をかけるという考えがあります。どんな言葉で声をかけますか。それともあえて、そっとしておきますか。だとしたら、それはなぜですか。どんな考えであってもきっと「友達に対して優しくしたい」という基本的な価値観は同じです。きっと一人一人の考えはそう考えた理由を含めると全く同じにはなりません。それは、その人自身のこれまでの経験が違うからです。友達の気持ちの中の解釈も違ってくるでしょう。

道徳の授業とは、自分のこれまでの経験から導かれた考え方を明らかにし、そして、他の人と話し合うことで違いに気づき、これまでよりも考え方や感じ方の幅を広げ、それらを確かなものへとしていく時間なのです。

先ほどの問題を、ぜひお家でも話し合ってみてください。きっとお子さんの今の考え方が見えてきますよ。時には、お家の人があえて違う立場に立ってどんどん質問してみると面白いかもしれませんね。

さて、5回にわたり私の体験にもとづいて、これまで考えてきたことをお伝えしてまいりました。このコラムが「かしこい子育て」を考えるきっかけになれば幸いです。お付き合いいただきありがとうございました。(新川靖・発達教育学部助教)

＊＊＊

次回からは看護学部の竹村淳子教授(看護学)のコラムです。引き続きご愛読ください。

ジャコウアゲハを観察

アゲハチョウの一種、ジャコウアゲハの保全活動に取り組む高雄地区の住民有志が地元の小学校に幼虫やサナギをプレゼント。児童たちが羽化を楽しみにして観察を続けている。

高雄地区にはジャコウアゲハの幼虫が餌とするウマノスズクサが自生。3年前から地域の除草作業で刈り取らずに残すようにしたところ、昨年から幼虫やサナギを見かけるようになったという。調査観察を続けている南野中の木村繁之さん(81)は今年3月、1カ所で20個のサナギを確認。大半が風で飛ばされたり天敵の蜂にやられたりしたものの、2割が羽化した。

ジャコウアゲハは春、夏、秋と年3回の繁殖期がある。保全に取り組む地元の尼子公一さんと山下一之さんは「子どもたちに地域の豊かな自然に関心を持ってほしい」と高雄小へ幼虫とサナギ、成虫をこのほどプレゼント。理科でチョウの生態を学ぶ3年生の教室に置き、これまでにサナギ一つが羽化した。

「幼虫は『気持ち悪い』と思ったけど、きれいなチョウになった」と中村璃優斗君(8)。釜増めぐみさん(8)は「教科書の写真で見るよりも飛んでいるチョウはきれい」。担任の坂本哲也教諭(27)は「生きた教材」で子どもたちが理科に興味を持つきっかけになっています」と成果を話した。**(写真はジャコウアゲハを観察する児童たち)**

▼…「北前船つながり」民謡で交流―かつて廻船で栄えた歴史と文化を地域おこしに活かそうと、「北前船寄港地 坂越浦民謡祭」が坂越の大避神社で6月25日に開かれ、岡山・下津井と地元・坂越の民謡グループが唄と踊りで交流した。

「坂越のまち並みを創る会」(門田守弘会長)の主催で倉敷市児島の下津井から倉敷合同民謡会と民舞ひばり会の計29人が来穂。北前船の船乗りを相手に酒宴の席で唄われた「下津井節」、港のにぎわいを歌った「下津井甚句」など8曲を披露した。地元は約20人で「さこし盆踊り」「鳥井町の曳きとんど囃子」を演じ、約100人が観覧した。

今年4月に北海道から福井県まで11市町の「北前船寄港地・船主集落」が文化庁の「日本遺産」に認定。下津井でも追加認定へ向けた機運が高まっているといい、今開催に協力した「倉敷市むかし下津井回船問屋」の矢吹勝利館長は「これからも寄港地同士の連携を深めて、まちおこしにつなげたい」と話した。

(写真は下津井の民謡と民舞のグループが出演した「北前船寄港地 坂越浦民謡祭り」)

みんな泥んこ 水田で運動会

田植え前の水田で運動会や田植えアートを楽しむ自然体験イベント「やっぱドロでしょ!!inA・K・O」(赤穂市、市教委後援)が6月25日、高野であり、小学生と保護者約80人が泥んこになって駆け回った。

自然の魅力を感じながら大人と子どもが共に楽しもうと、赤穂青年会議所(森谷充孝理事長)が主催。20㌃の水田を会場に親子35組が参加した。

参加者らは顔に泥をかぶっても大丈夫なようにゴーグルを着けて水田へ。旗取り競走や大玉ころがし、ドロソリレースを競技し、最後は全員で鬼ごっこに歓声を上げた。

田植えアートはJR赤穂線の線路沿いの水田で黒い稲穂が実る古代米「朝紫」の苗を「AKO」の文字になるように植えた。イベントを企画した前川勇人・みらい創造室長(37)は「秋に向けて文字がくっきりと浮かび上がってくるので楽しみにして」と話している。**(写真は泥んこになって競技を楽しんだ参加者)**

絵画を楽しむ会ギャラリー展

美術サークル「赤穂絵画を楽しむ会」(馬場清幸会長)のギャラリー展が7月2日(日)まで中広の赤穂市立図書館1階で開かれている。

講師の田中繁雄氏の賛助出品を含め、油彩画を中心に約65点を展示。出品会員は次のみなさん。敬称略。

▽大頭香代子▽清水美栄子▽金丸町子▽苔縄恭子▽平島松美▽目木まゆみ▽田嶋有▽明石方晶▽西川美穂子▽山本由布子▽山本照子▽松本絹代▽籠谷伸策▽入鹿英子▽小林章子▽大嶋康彦▽籠正勝▽沖知道▽馬場清幸

保健センター7月度の行事

※時間表記のないものは、いずれも13時半～14時半に実施。

▽5日(水)＝3歳児健診※平成26年1月生▽7日(金)＝健康相談(9時～11時)▽12日(水)＝2歳児歯科検診※平成26年12月生▽14日(金＝子育て応援隊さろん▽19日(水)＝1歳6カ月児健診※平成27年12月生▽26日(水)＝ベビーレッスン(13時～13時半)